



例年より20日も早い「梅雨入り」



令和

5月も半分が過ぎました。「薫風の候」と言われるように、一年の中で最も爽やかな季節のはずですが、なんと15日に九州北部地方は「梅雨入り」したとのことです。熊本県では昨日、1時間に80mm以上の大雨を記録しており、今後は大雨に対する警戒も必要です。

もしも、大雨により登校が困難であったり、心配だったりする場合には、無理をせず、登校を見合わせたり、遅れて登校したりして大丈夫ですので、まずは安全第一で判断してください。

今年は、幸いにも体育大会を含む学習発表会を秋に設定していたので、雨の心配をすることもなく、5月・6月は、じっくりと授業ができ、学び方をしっかりと身に付けることができるものと考えています。

さて、新型コロナウイルスが猛威を振るい、佐賀県も病床使用率が50%を超えるなどステージ4に達している部分もあります。まさに感染爆発の状態です。身近な所に迫っている現状から、嬉野市内全般に小学校の運動会が秋に延期になった他、小中合同で行う「クリーン作戦」や「読み語り」も実施を見合わせる事になりました。「学校運営協議会」も第1回は中止となりました。6月初旬までの行事が軒並み中止や延期となっています。

できることは、手洗い・うがい・手指消毒・マスクの着用・検温・3密を避けるなど、これまで行ってきた感染症予防対策をより危機感を持って行うことです。一人一人の意識がとても大切になります。これくらい大丈夫と思わず、お互いに高い意識を持って取り組んでいく必要があります。みんなで乗り切りましょう！



部活前の検温 吉村さんがチェック！

オンライン授業を試験的に行っています。

今年度から1人に1台ずつタブレットが導入され、4月の授業参観日に、全員が自分のIDとパスワード等の初期設定を行った事は先日お伝えしたとおりです。

5月に入り、感染症予防対策のため出席停止を余儀なくされた生徒にタブレットを配布し、学校からオンラインで繋がることができました。試験的に職員が空き時間を使って授業を行っていましたが、今では、教室から授業の様子を中継できるようになりました。試行錯誤しながらのオンライン授業ですが、テレビのような一方通行の画面だけでなく、生徒からの声も聞くことができ、双方向で会話をしながら授業を進めることができます。教室の電子黒板にデジタル教科書を写すのと同じように、タブレットに直接デジタル教科書を写しながらの授業も試みています。休み時間は、子どもたち同士で画面を通じて談笑しています。

幸い、自宅にWi-Fi環境が整っていたのでできたことではありますが、何もせずに過ごしたり、学習課題を届けたりするだけの対応ではなく、できるところから進めて「子どもたちの学びを止めない」ようにしたいと考えています。

今後、全員が持ち帰ることができて、Wi-Fi環境が整っていれば、一斉に休校になった場合にも対応できますし、具合が悪くて欠席していても、調子のいい時間だけ授業に参加するという事も可能になります。色々な可能性を探りながら、何ができるか工夫していきたいと考えています。



実際の授業の様子（上）
タブレットの画面（右）

英語検定試験 5月21日(金)

今年度1回目の英語検定試験、「英検」が5月21日(金)16:20から本校で行われます。準2級・3級・4級の受験者です。次回は、10月に行われますので、今回受験できなかった人も、次回はぜひチャレンジしてほしいと思います。なお、中学校卒業までに多くの人が3級を取得することを目標にしています。

全国学力学習状況調査 5月27日(木)

例年は、4月に行われる全国学力学習状況調査ですが、新型コロナウイルス感染症の影響のため、今年は、5月27日(木)に行われます。対象は3年生です。全国や県と比較して自分はどれくらいの位置にいるのかを確認できます。吉田中以外の人と競い合う「たくましさ」を見せてほしいところです。これまで学習して身に付けた「賢さ」をしっかり発揮してほしいと思います。

鹿島嬉野藤津地区中学校総合体育大会 7月3日(土)から開催

3年生にとっては、部活動の最後の大会となる、令和3年度地区中体連総合大会は、7月3日(土)に開幕します。今年も、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、昼食の時間を挟まず、半日ずつ4日間に分けて開催します。軟式野球とサッカーが7月3日(土)4日(日)から行われ、他の競技は、10日(土)、11日(日)に開催します。生徒の健康を第一に考え、感染症予防対策と熱中症対策を万全にするため、1日で終わる競技や4日間かかる競技まで様々であり、状況に応じて開催されることとなります。

競技毎の詳細な日程や組合せ、各会場での留意事項や保護者の応援等については、後日、別途連絡があります。

今年は、梅雨入りも早く、感染症対策や熱中症対策などコンディションづくりが大変かと思いますが、カレンダーを見ると、残された時間はわずかです。一日一日のトレーニングを大切に、悔いのないよう、賢く・優しく・たくましく、頑張してほしいと願っています。



CEROレーティングマークをご存じですか？

映画には、R18+（18歳未満は保護者同伴でないと入場不可）、R15+（15歳未満は保護者同伴でないと入場不可）、PG12（保護者の指導助言の下、鑑賞可）などの表示があるように、ゲームにも年齢ごとに「年齢区分マーク」というものがあります。CEROレーティングマークといい、次の5種類に分けられています。マークはパッケージの表面左下部分に表示され、パッケージの背表紙にも帯色をつけて表示されます。

(A:黒、B:緑、C:青、D:橙、Z:赤)

※ここでいう対象年齢は、中学生(12歳、13歳、14歳)高校生(15歳、16歳、17歳)を指しています。

中学生は、CERO AかCERO Bのゲームしかしてはいけません。小学生がしても良いゲームは、CERO Aだけであり、もし中学生がオンラインゲームでCERO B以上のゲームを小学生としていたら・・・問題です・・・。

R指定もCEROも子どもたちの健全育成を願って定められたものです。戦闘型のオンラインゲームはほとんどがCERO C以上です。ふさわしくないと判断される観点は以下のとおりです。お子さんがゲームをしていたら確認してみてください。

	年齢区分の対象となる表現・内容は含まれておらず、全年齢対象であることを表示しています。
	12才以上を対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。
	15才以上を対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。
	17才以上を対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。
	18才以上のみを対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。 (18才未満者に対して販売したり頒布したりしないことを前提とする区分)

